



新宿西戸山中学校地域協働学校

第 4 回 協議会だより

第 4 回会議では特別支援教育の取り組みについて協議が行われました。本校では今年度から新たに経営支援部を立ち上げ、学習や学校生活に困難を抱える生徒を支援するための新たな体制づくりに乗り出しています。生徒の居場所となる「和室」の開設や「学びの教室」の導入などが少しずつ効果を上げつつありますが、課題も山積しています。地域協働学校として何ができるか、委員たちからは活発な意見が出されました。

□ 日 時 令和元年 11 月 7 日（木） 16 時 05 分～17 時 05 分

□ 場 所 新宿区立新宿西戸山中学校 1 階 会議室

□ 出席者 ※敬称略、順不同

新藤久典、浅井春夫、芹澤直樹、伊藤容子、新田怜弥、佐藤浩、田中健夫、美濃部芳和、菊田史子、
天野真寿、朴勝高、山中麻子、太田幸司（報告）大森伸保（新宿区教育支援課）※過半の出席があるため成立

□ 配布資料

「次第」「学校だより第 12～13 号」「不登校ゼロをめざす取り組みと特別支援教育の推進に関わる中間報告」
「参考資料 リーディングスキルテストの問題を解いてみよう」

□ 議 事

1. 代表挨拶

2. 報告

①学芸発表会、部活動新人大会等（配布資料にて）

②3 年生進路面接

会議室、相談室等、校内 4 箇所を面接会場とし、地域の企業や教育機関等の協力を得て 3 年生の面接指導を実施。会議に先立ち、委員たちがその様子を視察した。

③特別支援教育

敬遠支援部の太田教諭より報告が行われた（以下、概略）。

経営支援部の活動は不登校ゼロの達成および、「学びの教室」開設に伴う準備・運営という二つの視点に立っている。この二つは絡まり合いながら存在しているが、別の柱であり、それぞれに合った細やかで柔軟な対応が必要である。

不登校については「和室」を活用した支援が成果を上げ、数名の生徒たちの不登校が解消されつつある。「学びの教室」は困難がある生徒ひとりひとりの特徴を把握し、生徒がそれぞれの困難を補うための手立てを学べるよう支援を行うことを目的としている。活用に向けて少しずつ前進しているが、それに伴い課題も見えてきた。担任の思いや家庭の思いをつなくコーディネートの重要性、保護者の理解の大切さ。とりわけ小学校との連携の必要性が痛感される。

3. 協議

報告③を受けて、特別支援教育の取り組みについて活発な協議が行われた。

生徒の困難の様相や支援の経過を類型化して具体的に知ることができれば、先生方の応援を効率的にできるのではないかと／地域協働学校として何ができるのか考えていく必要がある／学校側から要望を上げてもらえると動きやすい／他校の地域協働学校の取り組みに学ぶことが有効。今後の会議で他校の活動を見ていく。

地域協働学校運営協議会 第 5 回会議
1 月 21 日（火）16 時～ 本校会議室にて